

1. 議 事

(1)子ども・子育て支援事業計画の進行管理

令和元年度点検・評価について、委員に各事業に対する意見を求めました。

<各事業に対する委員意見>

1. 子どものための教育・保育給付

事業名	子どものための教育・保育給付
委員意見	待機児童ゼロはとても良いことですが、保育園によって、施設や体制にかなり差があることが気になります。預かってもらわないと仕事に出られないため、「どこでもいい。」となっていますが、自分の生活や考えに合う「ここなら安心して預けられる。」と思える園を選べるくらい充実してほしいと思います。
	第8次大和市総合計画の基本目標である「子どもが生き生きと育つまち」の実現に向け、子どもの居場所が82か所、6,300人以上あること、そして待機児童ゼロを継続していることを評価します。一方で現場の働き手不足が深刻化するなか、施設を増やし続けている現状に、いつかしわ寄せが現場に来るのではないかと心配です。
	大和市は、毎年新しい保育園の開園がずっと続いており、年度当初の待機児童0人を更新しているという事である。私の在職している保育園は南部地域にあり、ここ数年新園が次々建っている。また、既存の保育園でも特に希望の多い1歳児の受け入れを多くしていくよう大和市からの要望に応じている状況にある。当園をはじめ、既存園は次々と出来る新園と地域の中で連携して入園を希望する保護者が利用しやすくするために何が出来るか考えていきたい。
	普通の子どもたちのための保育施設の充足は申し分ない。障害や病気のため保育所を利用出来ない子どもたちのために、居宅訪問型保育の早期実施が望まれる。
	5年連続待機児童ゼロ達成、大変評価します。今後も継続できるようにしてください。
	待機児童ゼロということは、大変評価できます。保護者の利便性ばかりが重視されることのないよう、子どもたちにとって保育・教育の質が落ちることのないように努めていただきたいです。保育現場の保育の質・家庭においての保護者の子育ての力の両方がバランスよく今の時代に合った形で成長をしていける大和市であってほしいです。
	待機児童ゼロを目指すのであれば、定員に余裕を持たせる必要があるのは仕方ないと思われませんが、常に細かなニーズの数的把握をして、無駄のない事業展開を期待します。
	他市町村の友人から、大和市の待機児童ゼロはとても良いと言われます。子育てしやすいまちづくりをこれからも続けてください。
定員と量の見込み人数に大きな差があるのはなぜか。(特に3号、1・2歳) 【事務局より】 平成29年度に行った第一期計画の中間見直し時に、前年度までの増加率やマンション建設による保育需要を想定し、見込み人数を当初の計画数値より上方修正しましたが、幼児教育・保育の無償化等の影響を踏まえた保育ニーズが想定していたほど上昇しなかったことから、直近の保育所等申込状況を適切に反映させながら施設整備を実施した結果、定員と見込み人数の数値に乖離が生じました。	

2. 地域子育て支援事業

事業名	①利用者支援事業
委員意見	様々な支援が広がってきていて良いと思いました。特に初めての子を育てる親にとってはありがたいことだと思います。このような支援を大和に住む全ての人が受けられると良いと思います。
	安心して子育てできる街づくりに向け、引き続き支援をお願いしたい。
	多くの方のこの事業への期待を寄せている結果として受け止めます。更なる周知、利用者の生活スタイル等の多様性に可能な限り応えつつ、子どもの社会的自立までを視野に入れながらサポートができるようにと願います。
	相談内容を分析し、(大和市独自の)地域的な変化を先取りするような予防的な支援事業が展開できるのでは。
	支援の量と確保の方策は、計画通り進められています。お母さんたちの安心・安全に寄り添う事業として期待しています。
	施設や施策が多くの市民に公平に利用されるためには、「相談窓口の周知」は重要。子育て世代が必ず受診する妊婦健診時に、何度も周知していただきたい。地域の支援団体やサークルもチラシの配布(広報紙)や紹介をしていただきたい。
核家族化やシングルマザーが増えている世の中で、孤立してしまう若い母親も多いと思う。情報提供や相談窓口の充実はとても大切なことだと思う。なかなか相談するきっかけが持てない人でも、母子手帳交付時に全ての妊婦さんと面接をしていることで子育てが始まってからも継続して繋がることができるのでとても良い取り組みだと思う。	

事業名	②地域子育て支援拠点事業
委員意見	<p>子育て支援センターが駅から遠く、駐車場もなく、近所の人しか利用できないのが実情のようです。また、子育て中は市役所に相談しに行くほどでもない悩みを相談できる所も少なく、こども一はイオンなど行きやすい場所に専門家がいますので、相談しやすいと思います。大和にこのような施設が増えるのは、大変望ましい。</p> <p>【事務局より】 子育て支援センターには台数に限りはありますが、駐車場のご用意があります。また、大和駅や桜ヶ丘駅からはコミュニティバス「のろっと」を利用することもできます。アクセス方法について、今後も周知に努めてまいります。</p> <p>アフターコロナまでは利用人数を制限する必要があるかと思うので、より適切な相談場所としての環境整備、質の向上に期待する。</p> <p>地域子育て連絡会の中でずっと活動してきたと思う事は、色々な支援の場に出てくる方は良いのですが、そうした場に出てこれなくて困っている方をどうするのかということです。乳幼児健診などで心配なお子さんを保育園につなげてきたこともあったので、「④妊産婦・新生児等訪問事業」とも重なることだと思う。また、民生委員さんとの連携が大切かと思う。</p> <p>今後も、ウイルス蔓延防止のために様々な事業の休止が考えられることから、事業休止期間において支援拠点が在宅中の家庭にどのような支援ができるのかを課題としていただきたい。</p> <p>人数の見込みは少ないが、親子の不安や悩み、ママ友作りの重要な居場所になっている。</p> <p>子育て中のお母さんにとっては、必要な広場です。新型コロナウイルスで制限があるなか、活動は大変だったと思われます。今後もお母さんたちのニーズを汲み取り、頑張ってもらいたい。令和3年4月からの新しいこども一に期待を寄せます。</p> <p>多様な形態の保育に応じることは、行政的には大変と思われませんが、効率の良い利用状況となるよう期待します。</p> <p>北部から南部まで、バランスよく拠点があるので、子育て世代にはとても良いことだと思う。青少年センター跡地に新しく開設される拠点に大きな期待を抱いている。大和市で子育てしようとする若い人たちが増えるといいです。</p> <p>4箇所という数は適切なのでしょうか。また、量的側面についての情報は分かったのですが、質的側面についてどのような検討、評価がなされているのかを知りたく思いました。</p> <p>【事務局より】 令和3年4月から新たなこども一を開設し、市全体で5箇所となる予定であり、市域全体にバランスよく拠点が設置されていると考えています。質的側面については、国の要綱では求められていない専門職の配置を市が独自に行うことにより、担保できていると考えていますが、今後も利用者の声を取り入れながら、よりよい運営に努めてまいります。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、育児イベントや子どものサークル・講座などが行われていない現在、若い子どもたちやお母さんが他の人と交流をしにくい状況になっています。感染対策等、大変だと思いますが、安心して子どもたちを遊ばせられる場所の提供をお願いします。</p> <p>子どもを連れてわざわざ相談に行くのではなく、子どもと遊ぶ(遊ばせる)中で、相談や話ができるのはとても良い事業だなと感じます。</p>

事業名	③一時預かり事業
委員意見	<p>一時預かりをしてもらえる基準がわかりにくいと思います。次に保育園や幼稚園でも活動計画がある中、一時預かりの子を預かるのは難しいと思います。そのため的人员配置や設備、または一時預かり用の園が整備されるとよい。最後に保育園に入れなかった子が一時預かりを利用して、その後正式に入れるような体制づくりをお願いします。</p> <p>【事務局より】 保育所の一時的預かり事業には余裕スペースを活用し、預ける理由を問わずに利用できる緊急的保育と、専用の部屋を設けて、就労等の理由により週に何日か継続的に利用できる非定型的保育があり、ご利用にあたっては各保育所に直接お問い合わせしていただくほか、市のホームページやほいく課窓口等でもご案内しています。今後も子育て世代が働きながら安心して子どもを産み育てることができるよう、保育所等を整備するとともに、運営法人には一時預かり事業を積極的に実施していただくよう丁寧をお願いしているところです。</p> <p>また、認可保育所とは別に、平成30年4月には中央林間東急スクエア内に子育て支援施設「きらきらぼし」を開設し、一時預かり事業を充実させており、多くのご利用をいただいております。</p> <p>今後も高いニーズが見込まれると思われるので、引き続き、幼稚園や保育所等にとって事業が実施しやすい環境の整備に努めていただきたい。</p> <p>一時保育のニーズは予測より多くなっている。また、預ける内容などを見ていくと、見守りを必要とするような事例も多々あるように感じる。そうした細やかな事例に対応できるように考えていく必要があると思う。</p> <p>保護者の立場では便利ではあるが、乳幼児は負担が多いのでは？</p> <p>各保育園、幼稚園の努力が認められます。</p> <p>核家族の現在、子育て中の親にとって一時預かりは、精神的・肉体的にますます重要になると思われます。周知が広まれば、今後増加すると思います。</p> <p>私自身も幼稚園の一時預かりを利用したことがある。就労だけではなく、保護者の用事、PTA活動などでも一時預かりがあることで活動の幅が広がり助かった思いがある。市の事業として行われていることが預かる側の安心にも繋がると思う。</p> <p>幼稚園での一時預かりのニーズが高く、それに依っていく必要があることが資料から読み取れました。</p> <p>通園先という慣れている環境で預かり保育をしてもらえることは、子も親も安心感があるので、今後も利用者は増えるのではないかと思います。</p>

事業名	④妊産婦・新生児等訪問事業
委員意見	産後は精神的に不安定になりやすく、気付いたら大人とほとんど話すことがないと聞きます。相談できる人が訪問する制度は良いと思います。母子手帳を交付する時などにそのような制度があると積極的に周知すると良いと思います。
	出生数は減少しているのに、計画値を下回るのには仕方ないこと。育児不安を抱える方にとっては、とてもありがたい取り組みであり、昨今の情勢を考えると、今後は支援を必要とする家庭が増えると思われるので、引き続き子育て支援を行える環境の整備を図っていただきたい。
	「②地域子育て支援拠点事業」意見3と重なる部分あり。
	訪問型であることにこの事業の大きな意味があると思います。出産後間もない時期にとどまらず、家庭状況によってはしばらく継続するといったことも考えられないか。 【事務局より】 母子健康手帳交付時の面接時を始めとして、「妊娠、出産、育児等の不安が強い」、「産後のサポートがない」といった方や精神疾患の既往がある方などについて、継続的に支援を行っています。対象者の状況に応じて、出産前に訪問する場合もあれば、出産後に「赤ちゃん訪問プラス」として再度訪問を行うなど、産後に安心して育児が行えるよう必要に合わせた支援に努めています。
	新型コロナ禍、母子で孤立する家庭が増えてきている。訪問時期を出来るだけ早めること、繰り返し訪問できるよう、保健師の人数の充足をお願いします。
	見込みは下回ったが、事業的にはとても良く、進めてほしい。
	乳幼児家庭全戸訪問により、お母さん方の不安を取り除く事業としても、とても良いと思います。今後も頑張ってください。
	コロナのこともあり、妊婦さん・産後の方の不安な気持ちを抱えている方は多いと思います。引き続き、きめ細やかなケア・支援に努めていただきたいです。
	非常に重要な事業だと思います。より一層のきめ細かな支援の継続をお願いします。
	産後うつが社会問題にもなりつつある世の中、そこにコロナ禍も加わって、孤立して閉鎖的な空間で子育てをしている人も多いと思う。親も子ども心身ともに健康な生活を送るため、この取り組みは子育てのスタートにとっても大切なことだと思う。 令和元年の実績ですと、保健師さん一人あたりの担当乳児数が単純計算で150人を超えますが、その後フォローアップが必要な方もいることを考慮すると、これは適切な人数と判断してよろしいのでしょうか。 【事務局より】 乳児全戸訪問事業は、常勤保健師13名、会計年度任用職員の保健師、助産師、看護師、管理栄養士18名の計31名で実施しています。若年や高齢初産婦、精神疾患の既往がある方、生活背景に課題がある等の対象者を常勤保健師が担当し、継続的に支援しています。今後も実施数だけでなく、質の向上にも努めてまいります。
現在、悲しいニュースも増えているので、事業名にもあるように、「全戸」のサービス支援を目指してほしいです。なかには、訪問されることに対して抵抗がある人もいるかもしれないので、訪問に限定しなくてもよいのではないかと思います。	

事業名	⑤養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業
委員意見	様々な事情で養育が難しい家庭が増えていると感じます。専門の知識や感覚を持つ方々がその支援にあたって下さるのは、親にとって心強く感じると思います。
	要保護児童数は予想より多くなっていて、コロナ禍の中今後ますます多くなることが予想される。対応職員が少ないのは何とかならないかと思う。 【事務局より】 令和2年度に「子ども家庭総合支援拠点」を設置した際に心理相談員を常時配置とし、職員体制を強化しました。今後も児童及び保護者の心理的ケアのさらなる充実に努めてまいります。
	必要な時と所に適切に対応できるようなゆとりを持った配置が確保されるように願います。
	各対象者により必要とする支援は異なりますが、全体としてみると出生数が微減しているのに、計画値に対して実績値が34.5%上回っています。 計画値が年々増えていますが、実績値に合わせて量を増やすだけではなく、増加原因の分析により、妊娠期からの一環した支援について対応を検討してください。
	一番大変で重要な職務と思われませんが、支援者のメンタルヘルスにも配慮いただけますようお願いいたします。
	対象人数増加において、的確な支援が必要です。
	社会情勢のなか、必要とされる事業です。頑張ってください。
	コロナ感染対策において、一斉休校等があったことや生活が不安定になりやすい中で、養育支援を必要とされる家庭も多いと思います。引き続き、きめ細やかなケア・支援に努めていただきたいです。
	期待します。
	養育支援を必要とする家庭も以前より増えていると思う。社会全体で支えていく、という意味でもこの事業はとても大切だと思う。 派遣実績で、臨床心理士の派遣が16件と少ないような気がしたのですが、心理面での介入を要するようなケースが単純に少なかったため、という理解でよろしいのでしょうか。 【事務局より】 養育支援訪問事業における臨床心理士の派遣件数は、心理士が継続的な定期訪問を行ったケースの訪問回数です。1つのケースにつき、数回から十数回訪問するため、心理士の定期訪問を必要としたケース数や派遣期間の長短によって、年度により大きく増減します。(R1年度 16件、H30年度 52件、H29年度 8件、H28年度 9件、H27年度 12件) また、当該事業による継続的な訪問以外の家庭訪問や来所面談等による心理面での支援につきましては、上記件数には含まれておりません。(心理士の活動実績：R1年度 348件、H30年度 385件、H29年度 353件、H28年度 306件、H27年度 310件)

事業名	⑥ファミリーサポートセンター事業
委員意見	利用している人にとってはありがたい制度のようです。母親が立ち寄る所には数多く広報があるようだが、父親・祖父母が立ち寄る所にも広報を置くなどして、預けることは悪いことではないという考えを周知してほしい。
	依頼会員に比べ、支援会員の不足が懸念される。引き続き、広報等で支援会員の増員を図りたい。
	保育園の仕事をしている立場から保育園では出来きれない部分を補ってもらえることに感謝している。ファミリーサポートセンターの方と意見交換が出来る場があったら良い。 【事務局より】 今後、検討してまいります。
	広報にも紹介されていましたが、地域の子育ての輪が広がればとても嬉しいことです。
	子育て中のお母さんにとっては、必要な事業です。頑張ってください。
	依頼会員数と支援会員数のバランスが心配ではありますが、核家庭が多い中では必要な事業だと思います。
	行政の施設や施策が多様化したことにより、親たちのニーズがそれなりに満たされていることも一因ではないでしょうか。身近な図書館、学習環境も整っている大和市は素晴らしい。
	まだまだ認知度が少ないと思うので、1人でも多くの子育て世代にこの取り組みを知ってもらいたいと思う。 もっと認知度が上がると良いなと思います。幼稚園や学校等でお伝えするのはどうでしょうか。(おたよりなどで)

事業名	⑧延長保育事業
委員意見	通勤に時間がかかったり、勤務時間が遅かったりする場合には、延長保育はとても便利なようです。
	対象園児に必要な保育が全て実施されたことは高く評価できる。
	保護者の働き方・ニーズに合わせた事業で保護者も安心して働ける。
	社会情勢に合った事業です。今後も引き続き頑張ってください。
	期待します。 女性の社会進出により、男女問わず責任のある仕事に就いていることで、急な残業なども多いと思う。延長保育を望む保護者はとても多くなっていくと思うし、子どもたちも安心していられることがとても良いと思う。

事業名	⑨病児保育事業
委員意見	病児保育が3か所になったことは、共働きで頼る先のない家庭には、とても良いことだと思います。ただし、もみの木医院より南部には病児保育室がないので、南部への事業展開を希望します。
	今後もニーズが見込まれると思うが、預けられる子どものことを思うと、保護者の就労先である企業側の対応(就労者を有給扱いにして休ませる等)も必要だと考えさせられる。
	子どもの病気は季節的、地域的変動が大きく、病児保育施設等の利用率の変化が大きい。集中すると利用出来ない子どもが多くいると聞きます。周辺地域の施設と連携し、利用率の平準化が出来れば、保護者のためにも貴重な病児保育事業の効率的な運用に繋がると思います。
	保育園内に実施場所があるため、安心である。
	地域に根差した周知活動、広報活動に力をいただいた結果です。今後も続けてほしいです。
	より充実した展開を期待します。
	責任のある仕事を任されている以上、子どもの病気でも休めないことがある。核家族化で預けられる祖父母も近くにいない場合、この取り組みは安心して子育てができる大切なものだと思う。 3箇所という数は適切なのでしょうか。 【事務局より】 中部地区で2施設合計定員8名で実施しておりましたが、人口及び保育所等が多い北部地区でも事業を実施してほしいという要望を受け、令和元年に北部地区の1施設を加え、3施設合計定員34名に拡大し、県内トップクラスの充足率を実現し事業の充実を図っているところです。

事業名	⑩放課後児童クラブ事業
委員意見	<p>入会者数に対して部屋が小さいこと、先生の負担が大きいことが課題だと思います。発達に障害がある児童を受け入れ始めたことは良いが、年々地域の学校に入学してくる重度の児童が増加して、共働きの家庭も多く、対応していけるのかが不安です。</p> <p>【事務局より】 通常使用している教室等のほか、放課後の特別教室の借用や民営児童クラブを活用することにより、入会児童数に応じた居室の確保を行うとともに、国が定める基準以上の支援員を配置しております。今後につきましても、入会希望児童数に応じて居室や支援員等の確保に努めてまいります。</p> <p>また、障がいのある児童など特別な配慮を要する児童一人ひとりが適切な支援を受けられるよう、こども・青少年課において臨床心理士を雇用し、臨床心理士が児童クラブを巡回しながら、児童の行動観察を通じて支援員等への助言を行っております。今後につきましても、入会児童が安心して過ごせる環境作りに努めてまいります。</p> <p>年間を通して入会児童を全て受け入れ、そして支援員の資質向上にも力を入れており、高く評価できる。</p> <p>保育園から送り出す卒園児について、学校とは連携をしているのであるが、放課後児童クラブとは連携が出来ていないため困ったという問い合わせがあった。保育園、幼稚園とも連携を図ることは大切なのではと思う。</p> <p>【事務局より】 これまでも、児童が安心して放課後の時間を過ごすことができる環境を整えるため、必要に応じて保育園等と児童の生活状況等に関する情報交換や情報共有を図ってまいりました。令和元年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童クラブへの入会前に保育園等との十分な情報交換や情報共有を行うことが困難な状況となったことから、児童が小学校に入学した後も、引き続き保育園等と連携を図ることで、児童が安心して過ごすことができる環境作りに努めてまいりました。今後も、児童一人ひとりが安心して放課後の時間を過ごすことが出来る環境作りのため、保育園、幼稚園とより一層の連携強化に努めてまいります。</p> <p>利用する児童の支援だけでなく保護者への支援の充実と、そのための指導員の研修機会の確保・整備を充実できるとよい。</p> <p>今年はコロナの影響でスタッフの確保が大変だった。</p> <p>努力が伝わってきます。待機児童数5年間ゼロは素晴らしいです。待機児童数ゼロをキープしているので、これからは市民が希望する児童クラブに入れるよう質の向上を進めてください。</p> <p>利用人数増加に対する対応、非常に評価できます。コロナで大変な中、保育現場・担当課ともに非常に努力していただき、事業運営していただけたと思います。保育の質においても、児童クラブ担当の臨床心理士のクラブ巡回は、とても素晴らしい取り組みです。支援員の資質向上だけでなく、利用する子ども・保護者が安心して児童クラブを利用できる環境づくりになっていると思います。今後も、課題をしっかりと見極め、支援員の資質向上を様々な角度から努めるとともに、子どもたちが安心して育つことのできる環境づくりを行ってください。</p> <p>このような子どもたちが、自主性を持ちつつ、安全に自由に集える場の充実を期待します。</p> <p>コロナ禍の中、児童クラブの存在は、共働きやシングルマザーの家庭にとっても心強いものになったと思う。支援員の皆さんのご苦勞も大変なものだったと思う。支援員の方々が、安心して、全力で子どもたちをみることができるよう、大和市としても、これからも力を注ぎ込んでいって欲しいと思う。</p> <p>支援員の方の研修会への参加など、質の向上のための努力がなされている点が大変評価できると思いました。</p> <p>昨年度は小学校の休校も続き、例年以上に放課後児童クラブの必要性を感じる年だったと思います。入会児童数増加に伴い、様々な課題もあると思いますが、子どもたちが安心して放課後を過ごせることを願っています。</p>

事業名	⑪妊婦健康診査
委員意見	<p>妊婦健診の費用助成は費用面で困難を抱える人のためだけでなく、広く有効だと思います。出産後にも育児には多額の費用が必要なので、14回分は助かると思います。</p> <p>今後も続けてほしい。</p> <p>お母さん方の安心・安全を求める要望に対応する事業として素晴らしいです。今回の数値を見ると、不安は取り除けた数値になっています。これからの事業に期待します。</p> <p>公費負担額の大きさに少々驚きましたが、1件当たり5千円は医療という観点から妥当。</p> <p>世の中では、出産まで産婦人科にかからずに過ごしてしまう人もいると聞いている。大和市では、そのようなことが起こらないように、誰もが安心して出産できるよう、制度の周知、妊婦さんのための安心な取り組みを継続して行って欲しい。</p>

その他意見	<p>大和市は近隣地に比べて多様化したニーズに沿った施策の実践に尽力されていると思います。(給付金額は別として。)</p> <p>女性が結婚して子どもを産みたいと思うためには、「子育て・人間育て」の観点からの哲学的な視点も含めた未来像・人間像の再構築が必要な時代なのかもしれません。既にコロナ禍の蔓延長期化で変化は起こると思われませんが…。</p> <p>その影響を多大に受けた子どもたちへの今後の対応は今まで以上に大変になると思われれます。行政、地域の団体、周囲の大人、親たちも、より一層心を引き締めて向かい合わなくてはならないと思っております。具体策は？…よろしくお願いします。</p> <p>大和市には児童養護施設がなく、他市のようなショートステイ事業がありません。保護者の入院等、夜間を含めた短期間のお預かりがあると良いと思います。(里親への一時保護など。)</p>
-------	---